

① マッチングリソース型共同研究ラボの開設と運用

地域社会や企業等との対話により、国内はもとより、世界シェアへの拡大が期待されるブランド産業を開拓し、地域発展のフロンティアを実現していくことが目的です。企業等だけではなく大学も一定額を出資することによって、大型プロジェクト開発へと発展させていくことが共同研究ラボ(講座)の特徴です。一企業だけではなく、業界団体も対象となります。開設される

共同研究ラボ(講座)には、地域ブランドの魅力を世界に発信する教育プログラムを完備することで、当該分野を志向する世界中の若者を引き付け、大学と地域双方のブランド力を高めることが期待できます。

背景と目的

- ✓ 地域創生・活性化の中核的拠点としての社会からの期待
- ✓ 顕著化するSDGsや地域課題、社会の産業構造の大きな変化(COVID-19等)への対応

進め方(2020年～)

- ✓ 地域社会や企業等との対話
- ✓ 企業等との協働の仕組み構築
- ✓ 仕組みの実践
- マatchingリソース型共同研究ラボの開設と運用開始

めざす姿・アウトプット

- ✓ 企業等との共同研究ラボ運用
▶ 2～4ラボ(2022年度)
- ✓ 地域ブランド産業の国際競争力の強化
- ✓ 高度専門職業人材の育成

マッチングリソース型共同研究ラボの仕組み(概要)



【リソース】

- ・教員(学生)
- ・マネジメント(PM,URA)
- ・研究資金
- ・教育プログラム(学位)
- ・協働の場(産in学)

※PM：プロジェクトマネジャー

【リソース】

- ・研究資金
- ・研究人材(社員等)
- ・協働の場(学in産)

マッチングリソース型共同研究ラボ

Type1 ビジョンから共に創る

- 地域創生・地域活性化、SDGs・社会課題の解決を図る

Type2 テーマから共に探索する

- 学際融合により企業等の技術ニーズ・知シーズを探索する

Type3 大学シーズを共に活用する

- 大学基幹技術を実用化する「橋渡し」研究を実施する

※複数年、概ね1,000万円/年以上の共同研究規模を想定